

2017年度

環境活動レポート



対象期間：2017年4月～2018年3月



京都三菱自動車販売株式会社

(発行日：2018年5月31日)発行

環境方針

1. 環境基本理念

京都三菱自動車販売株式会社は、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、三菱自動車の販売・サービス(整備)を通じて、環境への負荷低減に自主的かつ継続的に取り組むと共に、車の安全・安心を提供することに努力いたします。

また、京都府や滋賀県の恵まれた自然環境を守りながら、地域企業市民として、積極的に地域社会の環境保全活動に取り組みます。

2. 行動基準

1) エネルギーの有効利用と二酸化炭素の削減

エネルギー(電気・自動車用燃料)の使用量の負荷チェックを行い、省エネルギーによる二酸化炭素の削減に努め、継続的な環境改善と環境管理の維持向上に取り組みます。

2) 廃棄物の適正処理

一般廃棄物・産業廃棄物の分別による再資源化(リサイクル)と廃棄物の抑制に務め、適正処理いたします。

3) 水使用量の削減

水使用量の負荷チェックを行い、節水による排水量の削減に努め、環境の負荷低減に継続的に取り組みます。

4) グリーン購入の推進

グリーン購入による資源の有効利用に努め、環境の負荷低減を継続的に取り組みます。

5) 環境に配慮した製品・サービスの販売

二酸化炭素の抑制や環境負荷の低減に、電気自動車の販売と法定点検の推進普及活動及び整備済み車両の作業手直し撲滅活動を積極的に取り組みます。

6) 環境関連法令の遵守

コンプライアンス経営の理念に基づき、環境関連法令と当社が締結した各種契約を遵守します。

7) 環境マネジメントシステムによる効果的運用

環境改善目標を定め、環境マネジメントシステムによる効果的運用に努め、継続的改善を図ります。

8) 環境保全を通じ社会貢献活動

NPO法人等で実施される、ペットボトルキャップ回収の福祉活動に、全社員が積極的に参画します。

9) この環境方針を全従業員に周知し、環境に関する教育や啓発活動に努めます。

2010年 10月 1日(制定日)

2016年 6月 1日(改定日)

京都三菱自動車販売株式会社

代表取締役社長 小林 康

■事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

京都三菱自動車販売株式会社 代表取締役社長 小林 康

(2) 所在地

京都三菱自動車販売株式会社 京都府京都市南区西九条菅田町15番地

滋賀三菱自動車販売株式会社 滋賀県大津市相模町2番地-48

株式会社ビーム 滋賀県犬上郡甲良町北落1257番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業本部長 井上 博昭 TEL: 075-662-7611

担当者 環境開発部 吉藤 隆 TEL: 075-662-7607

(4) 事業内容

(京都三菱・滋賀三菱)

1.新車・中古車の販売 2.自動車の整備 3.部品・用品の販売 4.保険代理店業務
(ビーム)

1.三菱自動車の新車整備・用品取付 2.自動車の板金・塗装修理

(5) 事業の規模

	合計	京都三菱自動車	滋賀三菱自動車	ビーム
年間売上(百万円)	14,726	10,396	4,212	119
従業員(人)	571	391	156	24
店舗数	24	15	8	1
床面積 m ²	33,159	17,842	9,772	5,545

(6) 事業年度 4月～3月

■認証・登録の対象組織

京都三菱自動車販売株式会社

本社十条店 京都府京都市南区西九条菅田町15番地 TEL: 075-662-7611

第1営業

北山店 京都府京都市北区紫竹東栗栖町16番地-1 TEL: 075-491-1132

中京店 京都府京都市中京区壬生神明町1番地-3 TEL: 075-812-3001

カドノ店 京都府京都市右京区西院東貝川町58番地 TEL: 075-315-2211

山科店 京都府京都市山科区東野八反畑町22番地-1 TEL: 075-592-5666

亀岡店 京都府亀岡市千代川町小林下戸30番地-6 TEL: 0771-22-5343

第2営業

吉祥院店 京都府京都市南区吉祥院西ノ茶屋町57番地-1 TEL: 075-691-9181

乙訓店 京都府長岡京市友岡4丁目19番9号 TEL: 075-953-1195

伏見店 京都府京都市伏見区横大路橋本20番地-2 TEL: 075-605-1555

醍醐店 京都府京都市伏見区石田森東町34番地-1 TEL: 075-572-0555

宇治榎島店 京都府宇治市榎島町石橋31番地 TEL: 0774-21-4106

京田辺店 京都府京田辺市三山木東角田10番地 TEL: 0774-62-2684

第3営業

舞鶴店 京都府舞鶴市京田丸山536番地 TEL: 0773-75-4160

峰山店 京都府京丹後市峰山町菅730番地 TEL: 0772-62-2478

福知山店 京都府福知山市興430番地-1 TEL: 0773-20-1713

滋賀三菱自動車販売株式会社

本社大津店 滋賀県大津市相模町2番地-48 TEL : 077-522-8802

第1営業

草津店 滋賀草津市南草津2丁目1番21号 TEL : 077-564-1235

栗東店 滋賀県栗東市出庭548番地-1 TEL : 077-552-0371

第2営業

高島店 滋賀県高島市安曇川町青柳1770番地-1 TEL : 0740-32-1611

水口店 滋賀県甲賀市水口町北泉2丁目33番 TEL : 0748-62-2345

近江八幡店 滋賀県近江八幡市馬淵町1679番地-1 TEL : 0748-37-4416

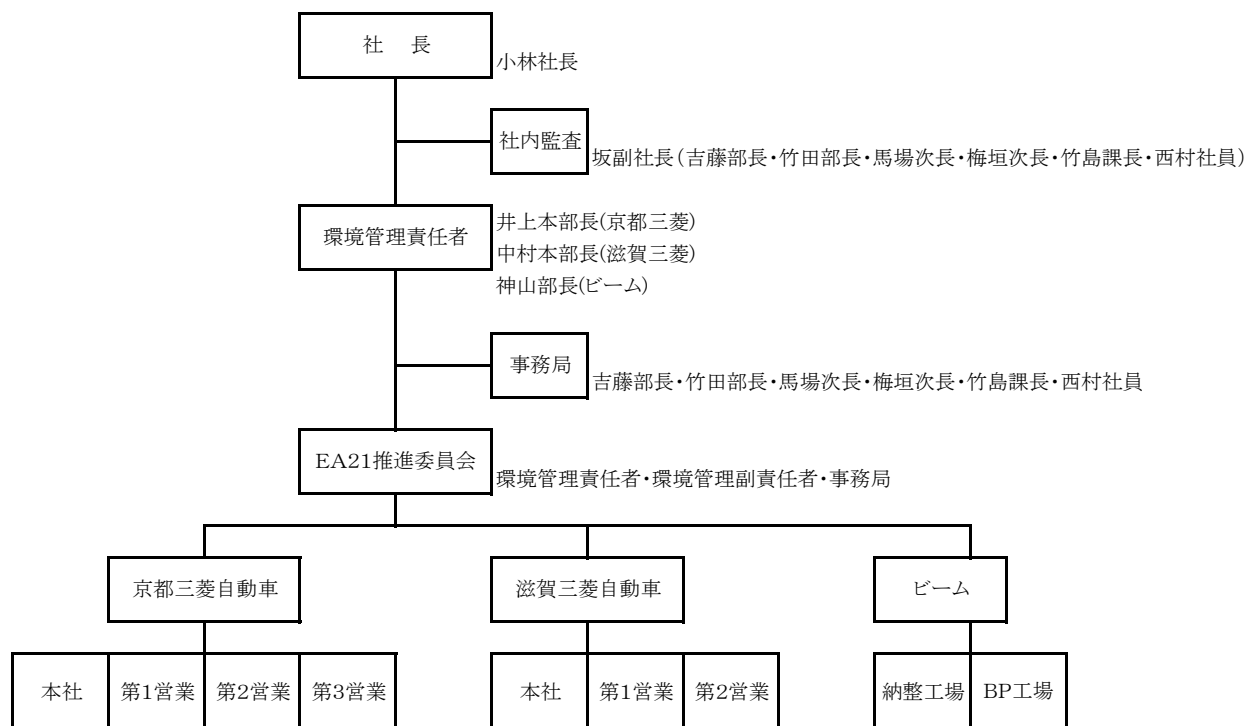
彦根店 滋賀県彦根市東沼波町180番地 TEL : 0749-22-4721

長浜店 滋賀県長浜市室町字441番地-4 TEL : 0749-64-1661

株式会社ビーム

滋賀県犬上郡甲良町北落1257番地 TEL : 0749-38-4670

■環境経営システム推進組織図



■主な環境負荷の実績

電気使用量は急速充電器使用量を含む

項目	単位	2010年 (導入時基準年度)	2015年	2016年 (基準年度)	2017年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,615,805	1,802,022	1,789,019	1,774,539
電気使用量	kWh	2,532,949	2,010,786	2,072,348	2,001,148
ガソリン使用量	ℓ	468,619	238,341	225,434	224,757
廃棄物排出量	t	836.562	580.046	574.500	584.917
一般廃棄物排出量	t	114.199	66.934	64.651	70.958
産業廃棄物排出量	t	722.363	513.112	509.849	513.959
総排水量	m ³	22,353	17,953	17,976	17,028

電力のCO₂排出係数 0.509kg-CO₂/kWh

■環境目標
全社

電気使用量は急速充電器使用量を除く
(廃棄物の取組は、焼却・埋立処分を対象とする)

項目	単位	2016年 (基準年度)	2017年		2018年		2019年	
			(16年基準)	削減率	(17年基準)	削減率	(17年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,628,470	1,612,185	-1%	1,612,185	0%	1,612,185	0%
電気使用量	kWh	1,954,419	1,934,875	-1%	1,934,875	0%	1,934,875	0%
ガソリン使用量	ℓ	220,792	218,584	-1%	218,584	0%	218,584	0%
水道水使用量	m ³	17,423	17,248	-1%	17,248	0%	17,248	0%
一般廃棄物排出量	t	13.244	13.112	-1%	13.112	0%	13.112	0%
産業廃棄物排出量	t	175.882	174.123	-1%	174.123	0%	174.123	0%
事務用品のグリーン購入	%	66.2	66.0	1.3				
法定点検台数	台	13,385	社内計画	-	社内計画	-	社内計画	-
電気自動車の販売	台	169	社内計画	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	142.97	144.40	1%	144.40	1%	144.40	1%

京都三菱

(城陽店を除く)

項目	単位	2016年 (基準年度)	2017年		2018年		2019年	
			(16年基準)	削減率	(17年基準)	削減率	(17年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,089,172	1,078,281	-1%	1,078,281	0%	1,078,281	0%
電気使用量	kWh	1,330,918	1,317,609	-1%	1,317,609	0%	1,317,609	0%
ガソリン使用量	ℓ	140,565	139,160	-1%	139,160	0%	139,160	0%
水道水使用量	m ³	12,572	12,446	-1%	12,446	0%	12,446	0%
一般廃棄物排出量	t	8.258	8.175	-1%	8.175	0%	8.175	0%
産業廃棄物排出量	t	112.151	111.030	-1%	111.030	0%	111.030	0%
事務用品のグリーン購入	%	65.4	66.0	1%				
法定点検台数	台	8,699	社内計画	-	社内計画	-	社内計画	-
電気自動車の販売	台	115	社内計画	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	93.55	87.98	1%	87.98	1%	87.98	1%

滋賀三菱

項目	単位	2016年 (基準年度)	2017年		2018年		2019年	
			(16年基準)	削減率	(17年基準)	削減率	(17年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	490,144	485,243	-1%	485,243	0%	485,243	0%
電気使用量	kWh	528,347	523,064	-1%	523,064	0%	523,064	0%
ガソリン使用量	ℓ	79,917	79,118	-1%	79,118	0%	79,118	0%
水道水使用量	m ³	4,244	4,202	-1%	4,202	0%	4,202	0%
一般廃棄物排出量	t	4.846	4.798	-1%	4.798	0%	4.798	0%
産業廃棄物排出量	t	57.901	57.322	-1%	57.322	0%	57.322	0%
事務用品のグリーン購入	%	68.7%	66.0%	1%				
法定点検台数	台	4,686	社内計画	-	社内計画	-	社内計画	-
電気自動車の販売	台	54	社内計画	-	社内計画	-	社内計画	-
ペットボトルキャップ回収量	kg	34.82	35.17	1%	35.17	1%	35.17	1%

ビーム

項目	単位	2016年 (基準年度)	2017年		2018年		2019年	
			(16年基準)	削減率	(17年基準)	削減率	(17年基準)	削減率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	49,153	48,662	-1%	48,662	0%	48,662	0%
電気使用量	kWh	95,154	94,202	-1%	94,202	0%	94,202	0%
ガソリン使用量	ℓ	310	307	-1%	307	0%	307	0%
水道水使用量	m ³	607	601	-1%	601	0%	601	0%
一般廃棄物排出量	t	0.140	0.139	-1%	0.139	0%	0.139	0%
産業廃棄物排出量	t	5.830	5.772	-1%	5.772	0%	5.772	0%
事務用品のグリーン購入	%	92.3%	90.0%	-2%				
手直し作業の撲滅	H	7.5	7.0	H	9.0	H	8.5	H
ペットボトルキャップ回収量	kg	14.60	14.75	1%	14.75	1%	14.75	1%

■主要な環境活動計画の内容

取り組み項目	目標	実施項目
電気使用量の削減	【目標値】 2017年度-1.0%(16年度比) 2018年度+-0%(17年度比) 2019年度+-0%(17年度比)	①クールビズの継続とウォームビズを導入実施 ②冷暖房の設定温度の管理徹底 ③冷暖房のフィルター掃除をこまめにする ④使用時以外の場所は消灯の徹底を図る ⑤広告塔や野外照明のタイマー設定時間の徹底を図る ⑥エアーコンプレッサーの圧力低減
ガソリン使用量の削減	【目標値】 2017年度-1.0%(16年度比) 2018年度+-0%(17年度比) 2019年度+-0%(17年度比)	①社有車・セールスカーの定期点検を確実に実施する ②社有車・セールスカーはエコドライブを励行する ③効率的な訪問活動に努める ④運行管理簿による使用量の適正管理
水道水の削減	【目標値】 2017年度-1.0%(16年度比) 2018年度+-0%(17年度比) 2019年度+-0%(17年度比)	①洗車ホースに手元バルブを取り付け、不要な水を流さない ②各蛇口に節水シールを貼付け、日常的に節水を励行する ③社有車の過剰な洗車は行わない、洗車する場合は節水を励行 ④漏水の定期点検の実施
一般廃棄物の削減	【目標値】 2017年度-1.0%(16年度比) 2018年度+-0%(17年度比) 2019年度+-0%(17年度比)	①コピー用紙の使用量削減の徹底を図る ②リサイクルゴミの分別整理の徹底により廃棄量の削減を図る ③事務所ゴミ(廃プラ)の排出量を管理し削減 ④販促品、カタログ類の適正数量発注 ⑤5S活動の実践(整理・整頓・清掃・清潔・躰)
産業廃棄物の削減	【目標値】 2017年度-1.0%(16年度比) 2018年度+-0%(17年度比) 2019年度+-0%(17年度比)	①リサイクルゴミの分別整理の徹底により廃棄量の削減を図る ②事務所ゴミ(廃プラ)の排出量を管理し削減 ③5S活動の実践(整理・整頓・清掃・清潔・躰) (負荷の自己チェックシート焼却・処分を対象)
事務用品のグリーン購入	【目標値】 2017年度目標 66%	①事務用品のグリーン購入推進 ②経費面を考慮し、購入の都度グリーン購入を検討 ③グリーン購入品に転換を図る
法定点検の販売	【目標値】 社内計画	①法令点検の入庫促進(社内計画による) ②ハーティプラスメンテナンス(メンテ18)販売による入庫確保 ③一般整備、板金修理入庫時に車両をチェック。 未実施ユーザーへの点検実施提案(廉価点検販売)
電気自動車の販売	【目標値】 社内計画	①I-MiEV・MINICAB-MiEV・PHEVの販売促進 ②全社スタッフの商品知識の向上を図る ③環境関連イベントへの参加 ④試乗会の開催
福祉貢献活動 (ペットボトルキャップ回収)	【目標値】 2017年度-1.0%(16年度比) 2018年度+-0%(17年度比) 2019年度+-0%(17年度比)	①ペットボトルキャップの回収 ②担当者による回収状況の発表 ③家庭で集めたキャップも回収 ④ペットボトルキャップで「ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティズ・ジャパン」に寄付します

■環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1. 2017年度の実績 (2017年4月～2018年3月 12ヶ月間)

電気使用量は急速充電器使用量を除く
(廃棄物の取組は、焼却・埋立処分を対象とする)

項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,612,185	1,650,223	×	2.4%
電気使用量	kWh	1,934,875	1,917,558	○	-0.9%
ガソリン使用量	ℓ	218,584	224,757	×	2.8%
水道水使用量	m ³	17,248	17,040	○	-1.2%
一般廃棄物排出量	t	13.112	14.205	×	8.3%
産業廃棄物排出量	t	174.123	185.590	×	6.6%
事務用品のグリーン購入	%	66.0%	62.8%	×	95.2%
法定点検台数	台	13,187	14,012	○	106.3%
電気自動車の販売	台	334	230	×	68.9%
ペットボトルキャップ回収量	kg	137.89	160.35	○	116.3%

(城陽店を除く)

項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,078,281	1,111,959	×	3.1%
電気使用量	kWh	1,317,609	1,308,149	○	-0.7%
ガソリン使用量	ℓ	139,160	145,280	×	4.4%
水道水使用量	m ³	12,446	12,031	○	-3.3%
一般廃棄物排出量	t	8.175	8.545	×	4.5%
産業廃棄物排出量	t	111.030	125.227	×	12.8%
事務用品のグリーン購入	%	66.0	63.2	×	95.8%
法定点検台数	台	8,406	9,042	○	107.6%
電気自動車の販売	台	202	151	×	74.8%
ペットボトルキャップ回収量	kg	87.98	105.83	○	120.3%

滋賀三菱

項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	485,243	489,322	×	0.8%
電気使用量	kWh	523,064	514,629	○	-1.6%
ガソリン使用量	ℓ	79,118	79,176	×	0.1%
水道水使用量	m ³	4,202	4,246	×	1.1%
一般廃棄物排出量	t	4.798	5.520	×	15.1%
産業廃棄物排出量	t	57.322	54.684	○	-4.6%
事務用品のグリーン購入	%	66.0	58.9	×	89.3%
法定点検台数	台	4,781	4,970	○	104.0%
電気自動車の販売	台	132	79	×	59.8%
ペットボトルキャップ回収量	kg	35.17	39.62	○	112.7%

ビーム

項目	単位	目標	実績	評価	削減/達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	48,662	48,942	×	0.6%
電気使用量	kWh	94,202	94,780	×	0.6%
ガソリン使用量	ℓ	307	301	○	-1.9%
水道水使用量	m ³	601	763	×	27.0%
一般廃棄物排出量	t	0.139	0.140	×	1.0%
産業廃棄物排出量	t	5.772	5.680	○	-1.6%
事務用品のグリーン購入	%	90.0	87.9	×	97.7%
手直し作業の撲滅	H	7	6	○	85.7%
ペットボトルキャップ回収量	kg	14.75	14.90	○	101.0%

全社

2.取組結果の評価、次年度の取組内容

- 1) 電気使用量

目標	1,934,875kWh
実績	1,917,558kWh
削減率	-0.9%
目標達成	達成 (○)

 - ・全社員が意識して節電の取り組みを実施し、目標を達成。
 - また、工場等の照明のLED化による電気使用量の削減を進めている。
- 2) ガソリン使用量

目標	218,584L
実績	224,757L
削減率	2.8%
目標達成	未達成 (×)

 - ・ビーム以外は目標を未達成。エコドライブの実践や運行管理、又、EVの活用による燃料使用量の削減活動を継続する。
- 3) 水道水使用量

目標	17,248m ³
実績	17,040m ³
削減率	-1.2%
目標達成	達成 (○)

 - ・節水意識が定着しており、目標を達成。
 - 入庫量の増減等によって左右されるが、今後も節水の取り組みを継続実施する。
- 4) 一般廃棄物排出量

目標	13.112t
実績	14.205t
削減率	8.3%
目標達成	未達成 (×)

 - ・全社員が意識して取り組んだが、目標は未達成。
 - イベントや清掃によるゴミの発生だけでも実績に影響する。また、5S活動の際に不要なものを処分したことによる。
- 5) 産業廃棄物排出量

目標	174.123t
実績	185.590t
削減率	6.6%
目標達成	未達成 (×)

 - ・全社で5S活動に伴う、整理・整頓を行い、廃棄物が増えた。
 - 今後より一層の排出量削減の為、取り組みを強化する。
- 6) 事務用品のグリーン購入

目標	66.0%
実績	62.8%
目標達成率	95.2%
目標達成	未達成 (×)

 - ・環境にやさしい製品の購入を検討し選択する。
- 7) 法定点検の入庫促進

目標	13,187台
実績	14,012台
目標達成率	106.3%
目標達成	達成 (○)

 - ・法定点検の必要性をアピールし入庫促進に努めており、計画を達成。
 - 今後とも、具体的かつ有効な入庫促進策活動を強化する。
- 8) 電気自動車の販売

目標	334台
実績	230台
目標達成率	68.9%
目標達成	未達成 (×)

 - ・電気自動車販売計画は未達成。新設の電動ドライブステーション等を使ってEVの特徴商品性をアピールし、販売活動することにより増販を目指す。
- 9) 社会福祉貢献活動(エコキャップの回収)

目標	137.89kg
実績	160.35kg
目標達成率	116.3%
目標達成	達成 (○)

 - ・ペットボトルキャップの回収活動は定着しており、目標達成となった。
 - 今後も活動を強化し継続する。

2.取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 電気使用量

目標 1,317,609kWh

実績 1,308,149kWh

削減率 -0.7%

目標達成 達成 (○)

・全社員が意識して節電の取り組みを実施した結果、目標を上回る実績にて達成できた。
気温等に影響されるが、こまめな消灯で節電の取り組みを強化する。

2) ガソリン使用量

目標 139,160L

実績 145,280L

削減率 4.4%

目標達成 未達成 (×)

・各店舗、エコドライブの実践や運行管理を実施したが、結果は目標未達成であった。
社有EVの活用、よりきめ細かい運行管理を励行し、ガソリンの使用量の削減を強化する。

3) 水道水使用量

目標 12,446m³

実績 12,031m³

削減率 -3.3%

目標達成 達成 (○)

・全社員に節水意識が定着しており、本年度は在庫量の減少と相まって目標達成。
在庫量や気温等に影響されるが、今後も、節水を継続実施する。

4) 一般廃棄物排出量

目標 8.175t

実績 8.545t

削減率 4.5%

目標達成 未達成 (×)

・社員全員に分別廃棄の意識は定着しているが目標は未達成。
今後も、3Rの徹底より減量を目指し活動を強化する。

5) 産業廃棄物排出量

目標 111.030t

実績 125.227t

削減率 12.8%

目標達成 未達成 (×)

・分別廃棄は定着しているが、まだ取り組みが不十分な点があり未達成。
廃プラスチックについては今以上の削減が必要。
本年度は、5S活動を強化した為、廃棄物の量が増えたと考えられる。

6) 法定点検の入庫促進

目標 8,406台

実績 9,042台

目標達成率 107.6%

目標達成 達成 (○)

・法定点検の必要性をアピールし入庫促進に努めている。店舗の予約管理を徹底した結果、
目標を大きく上回り社内計画を達成出来た。今後も入庫促進活動を継続する。

7) 電気自動車の販売

目標 202台

実績 151台

目標達成率 74.8%

目標達成 未達成 (×)

・PHEVは好調であったが、社内計画に対しては未達成となった。新型ガソリン車の発売も
一因と考える。全社員セールスとして活動し増販を目指す。

8) 事務用品のグリーン購入

目標 66.0%

実績 63.2%

目標達成率 95.8%

目標達成 未達成 (×)

・グリーン購入意識は定着しているが店舗により差がある。今後も経費面を考慮しつつ取り組む。

9) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収)

目標 87.98kg

実績 105.8kg

目標達成率 120.3%

目標達成 達成 (○)

・キャップの回収について、お客様にも理解を頂き目標を達成。今後も活動を継続する。

10) 全体の評価と見直し

・本年度は、前年より1%削減を目標として取り組んだが、現在までに大きく改善している為、
実績数値的には未達成項目が多くなった。廃棄物については5S活動強化も一因と考える。
今後は、今以上の削減が見込めない為、現状を維持するよう削減活動を継続する。

2.取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 電気使用量

目標 523,064kWh
 実績 514,629kWh
 削減率 -1.6%
 目標達成 達成 (○)

・節電の取り組みは実施されており、こまめな空調温度設定・消灯により、計画達成。継続を図る。

2) ガソリン使用量

目標 79,118L
 実績 79,176L
 削減率 0.1%
 目標達成 未達成 (×)

・各店舗、エコドライブの実践や運行管理、又、EVの活用を実施したが未達成。引き続き業務に電気自動車を活用し削減に努める。

3) 水道水使用量

目標 4,202m³
 実績 4,246m³
 削減率 1.1%
 目標達成 未達成 (×)

・節水意識を持ち取組んだが、未達成。天候等に影響されるが、今後も、節水を継続実施する。

4) 一般廃棄物排出量

目標 4,798t
 実績 5,520t
 削減率 15.1%
 目標達成 未達成 (×)

・全員のごみの分別廃棄の意識は定着しているが未達成であった。より一層の分別廃棄による排出量の減量を目指し、計画達成を目指す。

5) 産業廃棄物排出量

目標 57,322t
 実績 54,684t
 削減率 -4.6%
 目標達成 達成 (○)

・分別廃棄は定着しているが、取り組みが不十分な点があり未達成。今後、一層の排出量減量を目指し、活動を継続実施する。

6) 法定点検の入庫促進

目標 4,781台
 実績 4,970台
 目標達成率 104.0%
 目標達成 達成 (○)

・法定点検の必要性をアピールし入庫促進に努め目標達成継続を図る。

7) 電気自動車の販売

目標 132台
 実績 79台
 目標達成率 89.3%
 目標達成 未達成 (×)

・PHEVの販売台数が伸びず未達成となった。PHEVの増販活動強化により、今後、販売目標の達成を図る。

8) 事務用品のグリーン購入

目標 66.0%
 実績 58.9%
 目標達成率 89.3%
 目標達成 未達成 (×)

・グリーン購入意識は定着しているが店舗により差がある。今後も経費面を考慮しつつ取組む。

9) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収)

目標 35.2kg
 実績 39.6kg
 目標達成率 94.8%
 目標達成 達成 (○)

・意識して回収を促進し目標達成を図る。

ビーム

2.取組結果の評価、次年度の取組内容

1) 電気使用量

目標	94,202kWh
実績	94,780kWh
削減率	0.6%
目標達成	未達成 (×)

・新車納整作業の増大(前年比134.5%)により目標は未達成となったが、不必要な照明は消灯し今後も節電に取り組む。

2) ガソリン使用量

目標	307L
実績	301L
削減率	-1.9%
目標達成	達成 (○)

・達成する事が出来ましたが、引き続き社有車の効率の良い稼働に努め削減に取り組む。

3) 水道水使用量

目標	601m ³
実績	763m ³
削減率	27.0%
目標達成	未達成 (×)

・作業量の増大と漏水により未達成となったが、日々の節水に意識を持って取り組む。

4) 一般廃棄物排出量

目標	0.139t
実績	0.140t
削減率	1.0%
目標達成	未達成 (×)

・排出量は前年比100%で未達成となったが、引き続き分別を強化し排出量の減量を進める。

5) 産業廃棄物排出量

目標	5.772t
実績	5.680t
削減率	-1.6%
目標達成	達成 (○)

・引き続き分別によるリサイクル化を進め、再生有価物化に取り組む。

6) 事務用品のグリーン購入

目標	90.0%
実績	87.9%
目標達成率	97.7%
目標達成	未達成 (×)

・未達成となったが、高いグリーン購入比率となっており、今後も意識して取り組む。

7) 手直し作業撲滅

目標	7.0
実績	6.0
目標達成率	85.7%
目標達成	達成 (○)

・原因追求を徹底し再発防止のためにスタッフの共有化を図り、お客様目線で作業に取り組む。

9) 社会福祉貢献活動(ペットボトルキャップの回収)

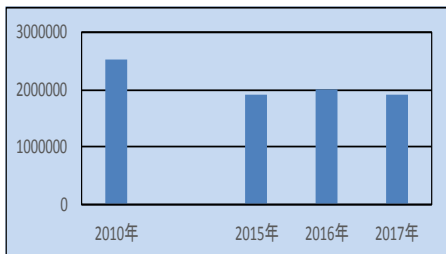
目標	14.7kg
実績	14.9kg
目標達成率	101.0%
目標達成	達成 (○)

・回収の意識も高まっており、引き続き社会貢献に参画する。

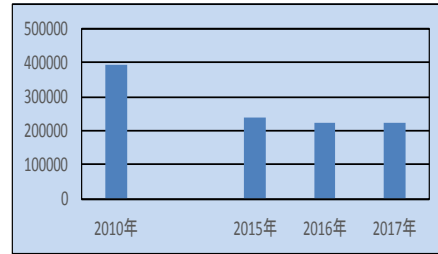
■エコアクション21取り組み以降の実績推移 全社分

全社		2010年	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素排出量	kg-CO2		1,727,413	1,670,358	1,650,223
電気使用量	kWh	2,532,919	1,922,756	1,992,170	1,917,558
ガソリン使用量	ℓ	396,117	238,341	225,434	224,757
水道水使用量	m ³	20,594	17,716	17,727	17,040
一般廃棄物排出量	t	21.687	14.491	13.552	14.205
産業廃棄物排出量	t	320.968	202.444	181.618	185.590
事務用品のグリーン購入	%	0.500	0.675	0.662	0.628
法定点検台数	台	13,040	14,478	13,385	14,012
電気自動車の販売	台	110	498	169	230
ペットボトルキャップ回収量	kg	89.00	153.75	142.97	160.35

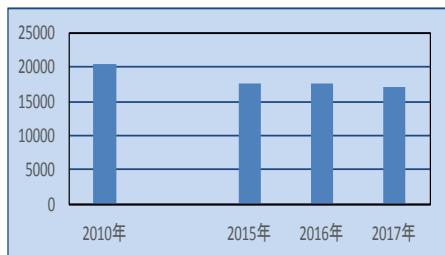
電気使用量



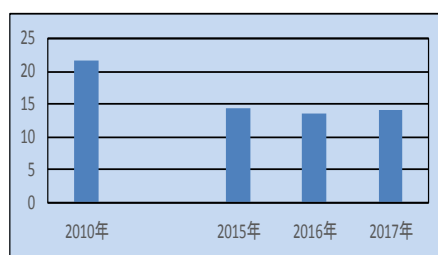
ガソリン使用量



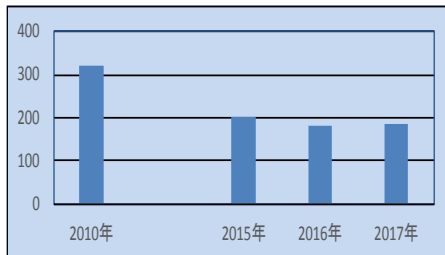
水道水使用量



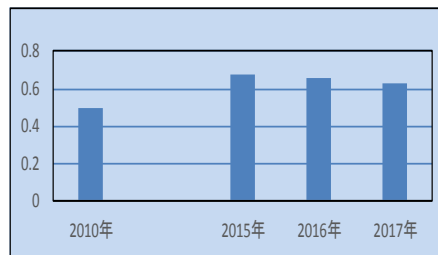
一般廃棄物排出量



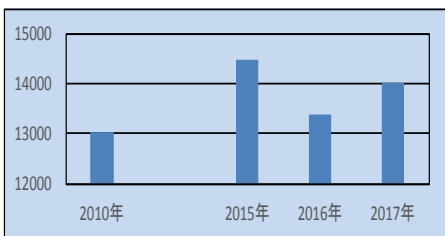
産業廃棄物排出量



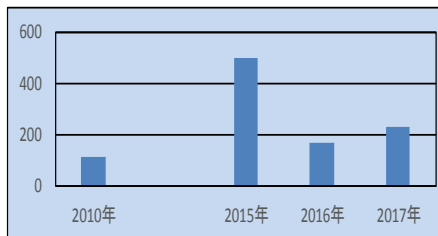
事務用品のグリーン購入



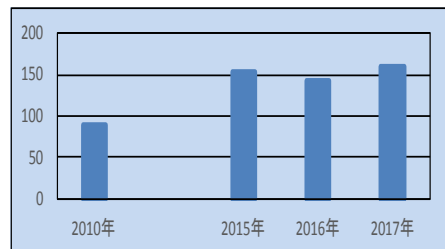
法定点検台数



電気自動車の販売



ペットボトルキャップ回収量



1. 主な環境関連法規

適用される法規制	適用される事項(設備・物質・事業活動)	評価		
		京都	滋賀	ビーム
自動車リサイクル法	・使用済み自動車の引き取り ・フロン類回収 ・マニフェストによる移動報告	○	○	-
廃棄物処理法	・一般・産廃収集運搬業者との契約 ・廃棄物保管場所及び掲示板の設置 ・マニフェスト交付及び管理	○	○	○
騒音・振動規制法	・特定施設の届け出(圧縮機・送風機等) ・規制基準の遵守	○	○	○
下水道法	・特定施設の設置、使用届け出 ・下水への排水基準遵守	○	○	○
浄化槽法	・設置届け出と水質検査 ・処理基準の遵守(定期検査)	○	○	-
消防法	・危険物保管指定数量以上の許可届け出 ・少量危険物取扱い届け出 ・貯蔵所や取扱所の基準遵守 ・火災報知機の設置	○	○	○
労働安全衛生法	・有機溶剤中毒予防規則への対応 ・特定業務健康診断 ・リスクアセスメントの義務付け	○	○	○
PCB廃棄物特別措置法	・毎年報告が必要 ・保管基準の遵守(本社十条店が該当)	○	-	-
フロン排出抑制法	・業務用エアコンの簡易点検 ・7.5kW以上のエアコンの定期点検(3年毎)	○	○	○

2. 違反・訴訟の有無

- ・環境関連法規制等の遵守状況に違反なく、また訴訟や環境関係当局からも環境関連法及び条例等の違反の指摘等も過去3年ありません。

■ 代表者による全体の評価と見直し

<p>1. 環境活動の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年より1%削減を目標として取組んだ。環境活動が定着し、排出量はエコアクション21取組当初より大きく改善している。 ・新任のエコアクション21事務局メンバーを2人迎え、新しい発想・視点から活動の盛り上げを目指した。 ・電気・水使用量の削減は、全社員に節約意識が定着しており、全社の実績では目標達成出来た。今後も意識して削減を行う。 ・自動車燃料については、エコドライブ、代車満タン返しをお願い等を行ったが、未達成となった。更なるEVの活用、効率的な運行を励行するよう引き続き指導する。 ・廃棄物については、全社合計としては一般廃棄物、産業廃棄物とも目標未達成となった。全社での5S活動に伴う、整理・整頓を行い、廃棄物が増えたことに一因がある。 <p>2. 環境方針・目標等の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度は、基準年度及び削減目標の見直し(変更)を行う。環境方針は変更しない。 <p>3. 今後の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者や担当者に対する、環境保全活動に関する社内専門教育を強化する。 ・EA21事務局会議の定期的な開催を継続し、会議の内容についても、より具体的な活動に結びつくような事案の検討を行う。 ・法令遵守は、会社方針の最重要項目の一つである、又、各市町村により違う条例についても内容や改正点を確認し、法令違反や条例違反が発生しないよう指導・監督を継続する。

■その他の取組

◇環境保全優良自動車関連事業場等の受賞

◇京都市 ごみ減量・3R優良事業所 3年連続認定

近畿運輸局長表彰の全店受賞(平成23年)

京都三菱 全店舗(15店)

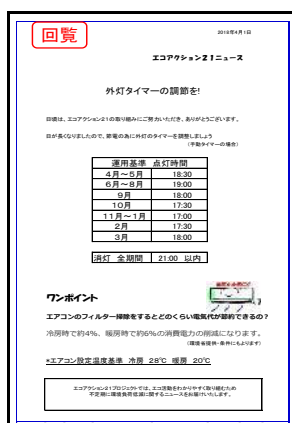
滋賀三菱 全店舗(8店)

ビーム (1店) 総合計 25店舗



◇エコアクション21ニュースの発行

◇京都市 産廃処理・3R等優良事業所表彰式



◇ペットボトルキャップ・古切手回収(福祉活動)



ペットボトルキャップ回収箱

'17年度 75,680個回収
活動開始より 489,256個回収



古切手回収箱

日本郵便文化振興機構へ寄贈
(社)京都モデルフォレスト協会に寄付
京都の森林を守り育てる活動に役立ちます

◇地域の清掃活動参加(ビーム)

◇油漏洩緊急対策キット全店配備



◇工場の照明器具LED化工事（ビーム）他



◇ごみ分別容器(ごみ箱)の色分け表示の統一



◇京都環境フェスタでPHEV車の展示



◇京都女子駅伝でPHEV車が先導車として走る



◇本社十条店に 電動ドライブステーションを設置してPHEV車の利便性をアピール

電動 DRIVE STATION

本社十条店は、「電動DRIVE STATION」本社十条店として電動車両の意義であるエネルギーソースの多様性と、外部給電機能がもたらす価値を具体化した店舗へと生まれ変わりました。



太陽光発電とV2H機器ならびに既存の電気網の組み合わせの中で“電動車両”のある暮らしをデモ体験していただけます。



◎ライフスタイルコーナー

停電時等にPHEVを接続すると家電がどれだけ使用できるかを体感できるコーナー(最大1500Wの出力)



◎太陽光パネル設置

太陽光パネルを16台設置してライフスタイルコーナーの電気の一部を供給する



*「電動 DRIVE STATION」は、電動車両(EV・PHEV)の意義であるエネルギーソースの多様性と、外部給電機能がもたらす災害時の価値を具現化した店舗です。